

『剣道から学んでいること』

香川県

小川道場

中学2年 泉佳那

私が剣道をはじめたきっかけは、仲の良い友達がしていた。ただそれだけだ。でも、ただそれだけの理由ではじめた剣道からたくさんのことを学んでいる。おかげで私の人生観は大きく変わった。今回は、学んでいることの中から三つを紹介する。

一つ目は、人の気持ちを考えることだ。私は小学四年生の時に剣道をはじめた。そのときの私は、小さなことでくよくよしてすぐに泣いてしまうような子だった。そんな私が今では、めったに泣くことはなくなり、友達関係もうまくやっていける様になった。これは剣道で人の気持ちを考える心が育っているからだと思っている。なぜなら、剣道の試合では相手が打ってくるタイミングを考えることも大切だからだ。剣道をはじめたときの私は相手のことまで考えることができていなかったと思う。しかし、剣道を続けたことにより人の気持ちを考えた行動をすることができるようになったと感じている。おかげで、人との心のすれ違いによるトラブルはおこさなくなった。

また、私の通っている道場には、色々な地域の人が集まっている。それまでの私にとって、友達と話せる場所は学校だけだった。だから最初は、学校の友達とは全く違う考えをもつ新しい仲間にとっても、とまどった。でも、一緒に何年も剣道をしたことでお互いの考えを認めあえるようになった。色々な考え方をもった人がいて「こんな考え方もあるんだ。」とおどろくことも多い。私は、人の考えを認めることも、人の気持ちを考えることにつながっていると思う。剣道を通じて、良い仲間をもったことは、私の大きな自信になっている。

二つ目は、相手を尊敬する気持ちだ。礼やそんきょを教わり、私は形だけではできるようになっていた。しかし、肝心の相手を尊敬し感謝する気持ちはできていなかった。ある日私は先生にけい古をつけてもらったあと、つかれていたのと、自分が思っていた通りに動けなかったこともあり、腹がたっていた。そして、そんきょと礼を先生の目を全く見ずにできとうにしてしまった。当然私は、すぐに呼び戻され、そんきょと礼のやり直しをさせられた。その後私は、どうしてやり直しをさせられてしまったのか考えた。剣道は、礼にはじまり、礼に終わる、それは相手をしてくれてありがとう、と感謝をする気持ちを大切にしているからだと考えた。それから私は、どんなに自分の納得のいかないけい古や試合でもきちんと相手の目を見て、感謝をしながら、そんきょや礼をすることを心がけている。

三つめは、仲間と協力することだ。剣道の試合は団体戦が多い。だから、チームで協力することの重要性は何度も実感している。実際、誰か一人の一本で勝ったり、負けたりすることも多い。だから、全員が心一つにして協力しないと、団体戦は勝てないと思っている。そして、自分の一本で負けてしまったときはげましてくれるのも仲間だ。学校が違う

ので大会では敵となり、ライバルとなることもある。私は、共に戦う仲間にもなり、時には良いライバルにもなる仲間と協力できることは、とても素晴らしいことだと剣道を通して強く実感している。

この三つ以外にも私は、剣道から多くのことを今も学んでいる。私の剣道人生はまだまだ、始まったばかり。これからも、たくさんのことを剣道を通して学び私の人生に活かしていこうと思う。